



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月9日

上場会社名 株式会社 バナーズ  
 コード番号 3011 URL <https://www.banners.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 小林 由佳  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 大内 修  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 048-523-2018

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,107	10.2	127	33.8	113	51.8	90	135.7
2022年3月期第3四半期	2,820	15.8	94		74		38	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 93百万円 (132.8%) 2022年3月期第3四半期 40百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	5.70	
2022年3月期第3四半期	2.39	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	8,992	2,382	26.3	148.58
2022年3月期	9,136	2,336	25.4	145.88

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 2,365百万円 2022年3月期 2,322百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				3.00	3.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,988	1.6	167	3.7	141	3.4	116	17.3	7.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 有

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	20,236,086 株	2022年3月期	20,236,086 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期3Q	4,312,093 株	2022年3月期	4,311,819 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	15,924,134 株	2022年3月期3Q	16,119,013 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている連結業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの下で景気を持ち直しが期待される一方で、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスク、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響及び中国における感染動向等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような事業環境下におきまして、当社グループは全社を挙げて各事業の特性及び付加価値性を活かした事業活動を推進いたしました。

不動産利用事業におきましては、埼玉県本庄市の既存物件の再開発を継続するとともに、いくつかの投資案件の検討を行いました。いずれも物件取得の判断には至っておりませんが、地域に根ざした成長性や資産性の見込める優良物件の取得に向けて、今後も継続して積極的に取り組んでまいります。

自動車販売事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染防止に取り組み、お客様に安心してご来店頂ける環境作りに注力して営業活動を行ってまいりました。2022年9月1日には新型車の「シビック タイプR」が発売され、高価格車ながら好評を得ており、また新型SUVのZ R-Vも多くを受注を頂いております。しかしながら、新車生産に必要な部品の供給不足は依然として解消されておらず、納期の長期化は複数の車種に及んでいるため、インターネットやSNSを利用した宣伝を足掛かりに顧客への接触から各種提案に取り組むとともに、経費削減にも注力致しました。

楽器販売事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が次第に緩和される中で来店客数も徐々に増え、演奏会やコンクール及び学校の部活動や市民団体の活動なども再開され始めて、楽器本体や消耗材等の関連商品の需要の増加傾向がみられました。さらなる売上増加を図るため、万全なウイルス感染対策を継続するとともに独自イベントの開催やキャンペーンを実施し、インターネットやSNSを活用した宣伝活動の頻度向上にも努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,107百万円（前年同四半期比110.2%）、営業利益127百万円（同133.8%）、経常利益113百万円（同151.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益90百万円（同235.7%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①不動産利用

売上高は301百万円（前年同四半期比103.2%）、セグメント利益は190百万円（同95.4%）となりました。

#### ②自動車販売

売上高は2,443百万円（前年同四半期比110.2%）、セグメント損失は0百万円（前年同四半期はセグメント損失24百万円）となりました。

#### ③楽器販売

売上高は362百万円（前年同四半期比116.8%）、セグメント利益は24百万円（同315.4%）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末比143百万円減の8,992百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比189百万円減の6,609百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比45百万円増の2,382百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年5月12日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,518,326	1,301,469
受取手形及び売掛金	82,405	80,446
商品及び製品	665,380	666,483
原材料及び貯蔵品	3,999	4,548
前渡金	44	—
前払費用	9,132	15,314
短期貸付金	66	66
1年内回収予定の長期貸付金	—	180,000
その他	13,369	18,248
貸倒引当金	△2,046	△2,137
流動資産合計	2,290,677	2,264,438
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,135,969	4,145,059
減価償却累計額	△1,770,461	△1,862,117
建物及び構築物 (純額)	2,365,508	2,282,942
機械装置及び運搬具	171,325	188,070
減価償却累計額	△73,991	△98,722
機械装置及び運搬具 (純額)	97,334	89,348
工具、器具及び備品	79,161	79,992
減価償却累計額	△50,454	△55,658
工具、器具及び備品 (純額)	28,706	24,333
土地	3,852,464	4,027,400
リース資産	33,757	16,929
減価償却累計額	△23,884	△8,447
リース資産 (純額)	9,872	8,482
建設仮勘定	17,785	485
有形固定資産合計	6,371,673	6,432,993
無形固定資産	2,989	2,594
投資その他の資産		
投資有価証券	1,502	1,502
長期貸付金	387,405	207,355
繰延税金資産	66,903	68,680
その他	26,548	26,341
貸倒引当金	△11,269	△11,269
投資その他の資産合計	471,089	292,610
固定資産合計	6,845,752	6,728,198
資産合計	9,136,429	8,992,637

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	239,536	246,247
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	271,032	250,840
1年内返還予定の預り保証金	55,587	56,038
未払金	18,936	29,822
未払費用	25,961	24,793
未払法人税等	11,882	20,583
未払消費税等	53,489	20,774
賞与引当金	13,759	8,539
前受金	278,794	282,808
その他	19,088	22,177
流動負債合計	1,588,068	1,562,625
固定負債		
長期借入金	2,962,276	2,831,934
役員退職慰労引当金	17,190	15,510
退職給付に係る負債	102,653	112,403
預り保証金	1,309,156	1,273,071
長期前受収益	92,746	87,916
再評価に係る繰延税金負債	718,180	718,180
その他	9,407	8,267
固定負債合計	5,211,610	5,047,284
負債合計	6,799,679	6,609,909
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	307,370	307,370
資本剰余金	576,022	576,022
利益剰余金	548,549	591,508
自己株式	△748,550	△748,583
株主資本合計	683,391	726,318
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	1,639,601	1,639,601
その他の包括利益累計額合計	1,639,601	1,639,601
非支配株主持分	13,757	16,807
純資産合計	2,336,750	2,382,727
負債純資産合計	9,136,429	8,992,637

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	2,820,050	3,107,687
売上原価	2,139,654	2,388,597
売上総利益	680,395	719,090
販売費及び一般管理費	585,416	591,975
営業利益	94,978	127,114
営業外収益		
受取利息	4,545	4,303
受取配当金	58	58
その他	2,531	8,178
営業外収益合計	7,135	12,540
営業外費用		
支払利息	26,980	25,556
その他	497	813
営業外費用合計	27,477	26,369
経常利益	74,636	113,285
特別損失		
固定資産除却損	105	—
投資損失引当金繰入額	15,600	—
特別損失合計	15,705	—
税金等調整前四半期純利益	58,931	113,285
法人税等	18,640	19,502
四半期純利益	40,290	93,782
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,797	3,049
親会社株主に帰属する四半期純利益	38,492	90,732

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	40,290	93,782
四半期包括利益	40,290	93,782
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,492	90,732
非支配株主に係る四半期包括利益	1,797	3,049



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社における税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社及び連結子会社の税金費用につきましては、原則的な方法により計算しておりましたが、当社及び連結子会社の四半期決算業務の一層の効率化を図るため、一部の連結子会社において、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、当該会計方針の変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年12月31日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	不動産利用	自動車販売	楽器販売	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	292,076	2,217,710	310,263	2,820,050	—	2,820,050
セグメント間の内部 売上高又は振替高	44,830	72	—	44,903	△44,903	—
計	336,907	2,217,782	310,263	2,864,953	△44,903	2,820,050
セグメント利益又は 損失(△)	200,182	△24,501	7,634	183,315	△88,336	※ 94,978

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額△88,336千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

※四半期連結損益計算書の営業利益

II 当第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	不動産利用	自動車販売	楽器販売	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	301,562	2,443,619	362,504	3,107,687	—	3,107,687
セグメント間の内部 売上高又は振替高	46,260	72	—	46,332	△46,332	—
計	347,822	2,443,692	362,504	3,154,019	△46,332	3,107,687
セグメント利益又は 損失(△)	190,925	△766	24,075	214,235	△87,120	※ 127,114

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額△87,120千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

※四半期連結損益計算書の営業利益